

2022年6月2日

会社名：株式会社サーキュレーション

コード番号：7379 東証グロース

サーキュレーションが脱炭素社会の実現に向けて CO2排出量可視化サービス提供企業との業務提携を開始 ～プロ人材の活用を通してESG経営を強化～

18,000名以上のプロの経験・知見を複数の企業でシェアし、経営課題を解決するプロシェアリング事業を運営する株式会社サーキュレーション（所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：久保田 雅俊、以下サーキュレーション）は、株式会社ゼロボード（所在地：東京都港区、代表取締役：渡慶次 道隆）、株式会社Recursive（所在地：東京都渋谷区、代表取締役CEO：ティアゴ・ラマル）と業務提携し、サプライチェーン上におけるGHG（温室効果ガス）排出量の可視化、および削減サービスの提供を開始します。

これにより、当社顧客のGHG算出可視化ニーズに応え、より客観的な現状分析に基づく具体的なシナリオ分析や目標検討、施策実行など、プロシェアリングを通してサステナビリティ経営実装フェーズの支援を加速していきます。

なお、本件による業績に与える影響は軽微です。



■脱炭素に向けた世界各国政府、経済界、金融市場の取り組みはさらに加速

2020年10月、菅義偉内閣総理大臣（当時）による「2050年カーボンニュートラル」（2050CN）宣言が発表され、過去に例のない2兆円の基金の創設と最大10%の税額控など革新的イノベーションの推進をはじめとした9つの項目において目標が掲げられ、経団連もこれに呼応しました。

また国際社会では、2021年11月に閉幕した国連気候変動枠組条約第26回締約国会議(COP26)で、初めて公式文書にて「産業革命前からの気温上昇幅を1.5℃に抑える」と発表し、1.5℃目標に向けて世界各国が努力する合意がなされました。この目標を達成するためには、2050年までに世界の二酸化炭素排出量を実質ゼロ（ネットゼロ、あるいはカーボンニュートラルとほぼ同義）にし、2030年までに2010年比で約45%削減することが必要とされています。

さらに株式市場においてもESG投資の具体的な基準の制定が進んでいます。CGC改訂におけるTCFD開示や、プライム市場上場企業のCDP回答義務化など、脱炭素に向けた流れは全世界、政治・経済・金融分野において加速しています。

■ プロシエリングを通じた脱炭素への取り組みの必要性が高まっている

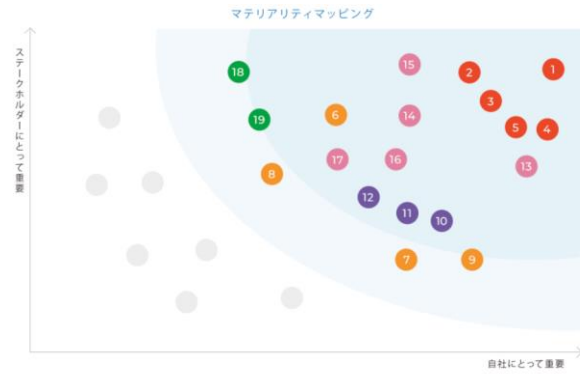
こうした脱炭素に向けた経営変革や事業創出のためには、サプライチェーン全体の各プロセスを統合的に管理し、GHG排出量などのデータを定量的に把握する必要があり、現在多くの企業がその対応と結果に基づく具体的アクションの設計に苦慮している状況です。

シンクタンク大手の日本総研などは2022年1月までに、「エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）」において報告義務のある7業種計309社に調査を行いました。その結果、温室効果ガス排出削減に向けた企業の具体的な行動計画を示す行程表について、政府が目標達成を目指す2050年までのものを策定している企業は16%にとどまり、残りの84%は策定していないという回答でした。

国際的な潮流を踏まえて、当社の顧客企業においても脱炭素に向けた取り組みが求められるようになっていきます。未だ2050年までのロードマップを策定できていない企業が大半である現状においては、プロ人材を活用したサステナビリティ経営実装支援においても、より具体的な課題解決プロジェクトが効果的です。

サーキュレーションにおいても、サステナビリティ経営を実装するために策定した5つのマテリアリティの1つに「エシカルなエネルギーアクション」を掲げ、「（18）プロシエリングサービスを通じた気候変動対策への貢献」「（19）脱炭素社会に向けた事業・組織活動」に対する指標目標設計を進めています。その取り組みの一部として、今回のCO2算出可視化サービスとの提携を行うこととなりました。

5つのマテリアリティ（重要課題）と19の価値創出項目



19の価値創出項目

- 1 プロ人材活用による企業変革促進と収益の改善
- 2 DX促進による産業の活性化
- 3 金融機関との提携による地方銀行の価値強化
- 4 地方中小企業と地域社会の経済活動促進
- 5 質の高い業務委託プロジェクト管理
- 6 フリーランスが安心して活躍し続けられる労働環境整備
- 7 プロシェアリング業界のルールメイキング
- 8 社会課題解決のための地域やセクターを超えた共創
- 9 プロ人材、プロ人材候補のNo1プラットフォーム構築
- 10 業界を代表するコーポレートガバナンス体制構築
- 11 ステークホルダーから信頼される内部統制の運営
- 12 プロとしてのリスクコンプライアンス
- 13 ビジョンで繋がる信頼あるパートナーシップ
- 14 働きがいを生み出す機会の創出
- 15 個人のウェルビーイングの追求
- 16 可能性を最大化するダイバーシティ&インクルージョン
- 17 個人がプロになるための知とスキルの獲得機会創出
- 18 プロシェアリングサービスを通じた気候変動対策への貢献
- 19 脱炭素社会に向けた事業・組織活動

■提携の目的

今回の提携によって、サーキュレーションは当社顧客のGHG算出可視化ニーズに応えることが可能になります。また、GHG算出可視化以降の、具体的なシナリオ分析や目標検討、施策実行など、当社顧客が脱炭素に向けた取り組みを企画し、実行する際にはプロ人材の経験・知見を活用したプロジェクトを通してご支援できるようになります。

■提携の内容

当社顧客のニーズに対して、連携企業を紹介するという紹介パートナー契約を締結します。現在確定している提携企業は以下の通りです。

会社名 株式会社ゼロボード（英語表記：Zeroboard Inc.）

公式HP <https://zeroboard.jp>

代表者 代表取締役 渡慶次道隆

設立 2021年8月24日

所在地 東京都港区港南二丁目15番1号 品川インターシティA棟22階 SPROUND

事業内容 温室効果ガス排出量算定・可視化クラウドサービス「zeroboard」の開発・提供 / 電力・環境価値に関するコンサルティング / プランディング・キャンペーン支援

会社名 株式会社Recursive / Recursive Inc.

公式HP <https://recursiveai.co.jp>

代表者 代表取締役CEO ティアゴ・ラマル

設立 2020年8月

所在地 東京都渋谷区恵比寿1-19-19 恵比寿ビジネスタワー10階

事業内容 AI開発、AI/SDGsコンサルティング

サーキュレーションのコンセプトである「知のめぐりをよくする。」を実現することによって、機会格差をなくし、人の可能性を最大化していく。そのような社会への価値を創出し続けることを使命とし、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【企業概要】

会社名 株式会社サーキュレーション

公式HP <https://circu.co.jp/>

代表者 代表取締役社長 久保田 雅俊

設立 2014年1月6日

所在地 東京都渋谷区神宮前3-21-5 サーキュレーションビルForPro

「世界中の経験・知見が循環する社会の創造」というビジョンのもと、外部プロ人材の経験・知見を複数の企業で活用するプロシェアリング事業を運営しています。高い専門性を有するプロ人材の経験・知見を雇用ではなくプロジェクトベースで活用頂くことで、企業の抱える課題の解決、ミッションの達成を支援します。

18,000名以上のプロ人材のリソースから、企業の経営課題・業界・成長フェーズ・社風・経営における理念・思想を鑑み、企業に最適なプロ人材を選出、課題解決プロジェクトチームを組成します。登録している20代から70代のプロ人材は、インタビューを実施し、独自の人材アセスメントにより、スキル・経験・志向性・人物について適正な評価・知見を蓄積しています。

2014年設立以来、導入実績は 3,418社 / 10,103プロジェクトを数えます。(2022年1月末時点)

【プレスリリースに関するお問合せ先】

株式会社サーキュレーション 広報 / 竹内

TEL: 03-6256-0467

FAX: 03-6256-0476

Email: public_relations@circu.co.jp